

平成 31 年 1 月 24 日
中部地方整備局
木曾川上流河川事務所
岐 阜 市

～ 平成30年7月豪雨の教訓を踏まえ、水防災について学びます ～

「長良川の水害から身を守るには」

概 要

甚大な被害をもたらした昭和 51 年 9 月の安八水害から 42 年、長良川は再び大きな洪水に見舞われました。

この「平成 30 年 7 月豪雨」をふりかえり、いつか必ず発生する「施設では守り切れない大洪水」からどのように身を守るか、小学生から市長、学識者まで、みんなで一緒に考えることで、長良川から水防災意識社会の再構築を目指します。

1. 開催日時 平成 31 年 2 月 24 日(日) 10:00～12:00 【9:30 開場】

参加費 : 無料

定 員 : 500 名

※ 会場が定員になり次第、入場をお断りさせて頂く場合がございます。

2. 開催場所 じゅうろくプラザホール 【JR 岐阜駅前】

岐阜市橋本町 1 丁目 10 番地 11

3. プログラム

【第一部】

基調講演①「頻発する豪雨災害と気候変動」

名古屋大学名誉教授 辻本 哲郎 氏

基調講演②「平成 30 年 7 月豪雨災害の教訓 – 自主避難の大切さ–」

関市長 尾関 健治 氏

防災教育事例発表「岐阜市立岐阜小学校での防災教育の取組み」

岐阜小学校教諭 篠田 龍祐 氏、岐阜小学校6年生児童

【第二部】

パネルディスカッション「大雨、その時私たちはどのように行動すべきか」

パネリスト:岐阜市長 柴橋 正直、岐阜市水防協会長 戸本 敏夫 氏

岐阜小学校教諭 篠田 龍祐 氏、岐阜県県土整備部河川課長 井上 清敬 氏

木曾川上流河川事務所長 堀 与志郎

4. 取材について

取材に当たっては、事前登録をお願いします。

取材をご希望の方は、別紙取材登録書をご記入のうえ、2月21日(木)12:00まで、に、次項のメールアドレスまたはFAX番号まで送信をお願い致します。

【取材登録書】

FAX 番号 058-251-1150

メールアドレス cbr-kisojyo-chosa@mlit.go.jp

5. 解禁 指定なし

6. 配付先 中部地方整備局記者クラブ、岐阜県政記者クラブ

7. 問い合わせ先 国土交通省中部地方整備局 木曾川上流河川事務所

副所長 水野 徹

調査課長 三國谷 隆伸

電話:058-251-1321(代表)

別紙「取材登録書」

「長良川の水害から身を守るには」

取材登録書

取材をご希望される報道機関におかれましては、事前登録のためこちらの取材登録書をご記入のうえ、期限までにFAXまたはメールにて送信をお願い致します。

送信期限 平成31年2月21日（木）12時00分まで

1. 報道機関名 _____

2. 取材者

(1)お名前（複数名の場合、代表者名）

(2)ご連絡先 TEL _____

(3)取材人数 _____人

(4)テレビカメラの有無 _____有・無

3. 取材登録書送信先

FAX番号 058-251-1150

メールアドレス cbr-kisojyo-chosa@mlit.go.jp

平成30年7月豪雨の教訓

水防災意識社会 再構築ビジョン

入場無料

「長良川の水害から命を守るためには」

2019 | 2.24 | SUN

時間 | 10:00 ~ 12:00 (受付開始/9:30)

場所 | じゅうろくプラザホール(岐阜駅前)

定員 | 500名

参加費 | 無料(先着順)※

※会場が定員に成り次第、入場をお断りさせて頂く場合がございます。



甚大な被害をもたらした昭和51年9月の安八水害から42年、長良川は再び大きな洪水に見舞われました。

この「平成30年7月豪雨」をふりかえり、いつか必ず発生する「施設では守り切れない大洪水」からどのように身を守るか、小学生から市長、学識者まで、みんなで一緒に考えることで、長良川から水防災意識社会の再構築を目指します。

NAGAKAWA

プログラム

9:30	受付開始
10:00	開会
10:05	主催者挨拶 ●岐阜市長 柴橋 正直 ●国土交通省中部地方整備局 木曾川上流河川事務所長 堀 与志郎
第1部	
10:15	基調講演① 「頻発する豪雨災害と気候変動」 名古屋大学名誉教授 辻本 哲郎 氏
10:35	基調講演② 「平成30年7月豪雨災害の教訓-自主避難の大切さ-」 関市長 尾関 健治 氏
10:45	防災教育事例発表 「岐阜市立岐阜小学校での防災教育の取組み」 岐阜市立岐阜小学校教諭 篠田龍祐 氏 岐阜市立岐阜小学校6年生児童
11:10	休憩
第2部	
11:15	パネルディスカッション 「大雨、その時私たちはどのように行動すべきか」
12:00	閉会

基調講演



つじもと てつろう
辻本 哲郎
名古屋大学
名誉教授、
木曾川水系
流域委員会
委員長



おしき けんじ
尾関 健治
関市長

パネリスト



しばはし まさなお
柴橋 正直
岐阜市長



ほりい よしろう
堀 与志郎
木曾川上流
河川事務所長



いのうえ きよたか
井上 清敬
岐阜県
県土整備部
河川課長



しのだ りゆうすけ
篠田 龍祐
岐阜小学校
教諭

アクセス

じゅうろくプラザホール
(岐阜駅前)

〒500-8856
岐阜市橋本町1-10-11
TEL.058-262-0150(代)

- JR 岐阜駅隣接 徒歩約2分
- 名鉄岐阜駅より 徒歩約7分
- 岐阜各務原I.Cより 車約15分
- 岐阜羽島I.Cより 車約20分



主催 | 国土交通省中部地方整備局木曾川上流河川事務所、岐阜市

お問合せ | 国土交通省中部地方整備局木曾川上流河川事務所 調査課 TEL.058-251-1125 <http://www.cbr.mlit.go.jp/kisojyo/>

平成 31 年 1 月 24 日
中部地方整備局
木曽川上流河川事務所

～ 災害対策車両等の見学・操作体験等を実施 ～

見よう・知ろう・乗ろう「災害現場で働くクルマたち」

概要

木曽川上流河川事務所では、災害現場で活躍する災害対策車両（対策本部車、排水ポンプ車、照明車）を保有しており、平成 30 年 7 月豪雨の際にも、当事務所管内の複数箇所実際に派遣しております。

この度、災害対策車両等の見学や操作体験等を実施するとともに、岐阜市日置江水防団による水防工法（月の輪工）の展示を行います。

1. 開催日時 平成 31 年 2 月 24 日（日） 9:00～14:00

参加費：無料

※雨天、雪等の場合は、中止させていただくことがございます。中止の際には、2月23日（土）21時までに、木曽川上流河川事務所ホームページに掲載させていただきます。

URL : <http://www.cbr.mlit.go.jp/kisojyo/>

2. 開催場所 信長ゆめ広場【JR 岐阜駅前】

3. 開催概要 災害現場で活躍する災害対策車両等の見学・操作体験等
岐阜市日置江水防団による水防工法（月の輪工）の展示

4. 派遣車両 対策本部車・・・車両を拡幅し、拡幅後の車内を見学できます
排水ポンプ車・・・車両や排水ポンプなどを見学できます
照明車・・・子供達を中心に照明の操作体験を実施します
河川パトロールカー・・・車両の見学・乗車体験を実施します
※ 車両の詳細は【別紙車両説明資料】参照

5. 解禁 指定なし

6. 配布先 中部地方整備局記者クラブ、岐阜県政記者クラブ

7. 問合せ 木曽川上流河川事務所 保全対策官 勅使河原 雅敏
電話：058-251-4265（防災情報課直通）

体験しながら災害・防災について学ぼう! /

災害現場で働くクルマたち

2.24日



場所 | 信長ゆめ広場
(JR岐阜駅前)

時間 | ※ 9:00~14:00

見よう!



災害対策本部車



排水ポンプ車

災害対策本部車や排水ポンプ車が災害現場でどのような活躍をするのか見てみよう!



国土交通省の制服を着て照明車を操作しよう!

知ろう!

乗ろう!

川の安全を見回るパトロールカーに乗ってみよう!



河川パトロールカー



かわ・ダムも知ろう!
模型&パネル展



アンケートに答えたら災害対策車両のペーパークラフトがもらえるよ!



無くなり次第終了します



照明車

※雨天、雪等の際は、中止させて頂く場合がございます。中止の際は、2月23日(土)21時までに木曽川上流河川事務所ホームページに掲載させて頂きます。URL: <http://www.cbr.mlit.go.jp/kisojo/>

さいがいげんば かつやく さいがいたいさくしゃりょう

災害現場で活躍する災害対策車両

対策本部車 (たいさくほんぶ車)

【木曽上保有台数 1台】



げんち たいさく ほんぶ かつやく

◆現地対策本部として活躍

車体を拡幅した時の室内の広さは14畳で、災害現場で会議室や仮眠所として使用できます。無線機、FAX、TVなどを搭載。シャワー、トイレ、などを装備し、災害現場の対策本部として機能します。2台を連結することができ、さらに広いスペースを確保できます。



排水ポンプ車 (はいすいポンプ車)

【木曽上保有台数 4台】

やく から

◆小学校のプールを約10分で空に

内水はん濫で緊急に排水が必要な時に使用します。

1秒間にドラム缶約2.5本(30m³/分)の排水が可能、小学校のプールを10分ほどで空にすることができます。

1回の給油で約13時間稼働します。



照明車 (しょうめい車)

【木曽上保有台数 2台】

きんきゅうやかんさぎょう あんぜん こうりつ かくほ

◆緊急夜間作業の安全と効率を確保

災害現場で夜間に十分な明るさを確保し、緊急作業の効率を高めるとともに、安全な作業環境を確保します。

明るさは、グラウンドのナイター照明塔1基に相当します。

また、7階建ビルの屋上と同じ高さから現場を照らします。

